

学科名	生物環境化学科／電気通信工学科						
科目名	初等物理学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2・3年前期		
必修・選択の別	選択科目(コースA群)／自由科目(コースB群)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動方程式を理解し、一次元運動(等加速度運動、単振動)を解く。</li> <li>・運動方程式から力学的エネルギー保存則を導く。</li> <li>・球座標を用いて、天体の運動を解く。</li> <li>・天体の運動からその質量に関する情報を得る。</li> <li>・電磁場の基礎方程式を理解する。</li> </ul>						
日程と内容	4/14 導入 4/21 物理量と単位 4/28 ベクトル・関数とその導関数 5/ 9 位置・速度・加速度 5/12 単振動 5/19 仕事と運動エネルギー 5/26 保存力と力学的エネルギー保存則 6/ 2 角運動量とその保存則 6/ 9 万有引力と惑星の運動 6/16 楕円の方程式と惑星の軌道 6/23 クーロンの法則・電場と電位 6/30 電荷・電流と磁場 7/ 7 電磁誘導の法則 7/14 総合復習 7/21 定期試験 7/28 定期試験の講評						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	40%	計			100%	
授業到達目標の達成度	講義を通して当初の目標に到達することができた。						
反省点	学期中に何度か演示の実験をしたが、機材の運搬に制約があるので簡単な実験にとどまった。実験室に隣り合わせの教室があると効果的なデモンストレーションができたと思う。						
来年度の計画	担当者変更のため未定						
授業評価アンケートに対するコメント	記述形式の回答がなかったが、受講者の物理学に対する興味をより引き出すことには成功しなかったようである。とくに後半の電磁気学の部分では抽象的な議論が難解に思われたようである。						
履修登録者数	11名	定期試験 受験者数	7名	合格者数	6名	合格率	86%